

# 日点委通信

No. 8

1992年10月1日発行

## 日本点字委員会総会報告

日本点字委員会は、1992年4月25日・26日の両日、東京都新宿区の戸山サンライズにおいて第28回総会を開催し、次の事項を協議した。

### 1. 英語の点字表記について

英語の点字表記は、ENGLISH BRAILLE AMERICAN EDITION（初版1959年）に基づいているが、同書はコンピュータによる自動点訳の導入に伴い、1980年と1987年の2回にわたって改正が行われている。

外国語点字専門委員会では、これらの経緯をふまえ、盲学校中学部用英語教科書の改訂期に合わせて、改正された点字表記を採用することとし、総会に提案して承認された。具体的な内容は、別項の「英語点字表記の一部改訂について」のとおりである。

### 2. 委員の交替等について

盲教育界代表委員の宮村健二氏と、盲人社会福祉界代表委員の西尾正二氏は、1992年4月の人事異動で、それぞれ筑波技術短期大学、カトリック宣教研究所に異動した。これにともない、盲教育界代表委員には中村幹夫氏（石川県立盲学校）が7月の全日本盲学校教育研究会三重大会から、盲人社会福祉界代表委員には田中徹二氏（日本点字図書館）が6月の日本盲人社会福祉施設協議会点字図書館事業部会から、それぞれ推薦され委員に就任した。なお、宮村健二委員は、両界代表委員会の推薦により、あらためて学識経験委員として就任することとなった。

### 3. 点字科学記号専門委員会委員の追加について

日本点字委員会第27回総会において設置された点字科学記号専門委員会の委員として、石田透（国立職業リハビリテーションセンター）、尾関育三（全国高等学校長協会

入試点訳事業部)、高村明良(筑波大学附属盲学校)、藤芳衛(大学入試センター)の4氏を追加することが承認された。

## 英語点字表記の一部改訂について

外国語点字専門委員会

日本点字委員会では、英語の点字表記については“ENGLISH BRAILLE AMERICAN EDITION”(初版1959)に基づくこととし、わが国の教科書、辞書、参考書、試験問題などに広く用いられてきた。

ところが、同書が1980年以来、コンピュータによる自動点訳などの観点から改訂された。ただ、この改訂は文の意味に関係なく機械的に表記する規則なので、従来のように意味によって書き分けるほうが、英語を外国語とする日本人にとっては読解上、役に立つのではないか、といった意見もあり、わが国では採用を控えていた。

しかしながら、わが国でもコンピュータによる英語の自動点訳も普及しつつあり、また同書の最新版などの内容が日本語でも紹介されるようになり、点訳者などに普及し始めた。

そこで、日本点字委員会では外国語点字専門委員会の提起に基づいて、これらの改訂案を採用することとした。

その主な点は次のとおりである。

1. and, for, of, the, with と不定冠詞 a が互いに隣り合っている場合は、その間をマスあけせずを書く、というルール of the例外として、and, for, of, the, with, a が隣り合っている場合、その間に意味の切れ目(自然な休止)がある場合には、マスを区切って書くという規則があった。この例外規則は廃止されて、文意に関係なく続けることとなった。

2. to, into, by は、後ろの語との間に意味の切れ目(自然な休止)がある場合には、略語を使うことができなかった。この規則は廃止され、文意に関係なく略語を使うこととなった。

3. to, into, by は、前後同時に大文字が来る場合、または前後同時にイタリッ

ク符が来る場合には、略語が使用できなかった。この規則は廃止され、大文字・イタリック符がどのような形でついていてもto, into, byの略語を使用できることとなった。

4. 通例、ダブル・コーテーション (“~”/ ⠠~⠠) が外側の引用符として、シングル・コーテーション ( ‘~’ / ⠠~⠠ ) が引用符の中の引用符として用いられる。墨字において、しばしば、シングル・コーテーション ( ‘~’ ) が外側の引用符として、ダブル・コーテーションが引用符の中の引用符として用いられることがあるが、そのような場合でも、点字ではひとマス記号を優先して、外側の引用符としてダブル・コーテーション ( ⠠~⠠ ) を、引用符の中の引用符としてシングル・コーテーション ( ⠠~⠠ ) を用いるという規則があった。[そのため、ひとマス記号の ⠠~⠠ を「アウターコーテーションマーク」、ふたマス記号の ⠠~⠠ をインナーコーテーションマーク」と呼ぶことがあった。]

この規則は廃止され、記号の使い方は墨字の形どおりにすることとなった。

5. 数字の直後に文字が来的时候、あるいは数字と文字がハイフンで結ばれているとき、以前は小文字の a~j の場合にだけレターサイン ( ⠠\* ) が必要であったが、改正によりどの文字にもレターサインをつけることとなった。

6. 外来語に略字を使うかどうかについては、以前はそれが英語化された言葉かどうかを辞書の見出し語で確認することとなっていたが、改正により、他の語と同じ書体で書かれていれば英語化された言葉とみなし、可能な略字を使うこととなった。

[本稿をまとめるに当り、“ENGLISH BRAILLE AMERICAN EDITION”のほか、福井哲也著『初歩から学ぶ英語点訳・改訂版』（日本点字図書館、1991）を参考にした]

#### 『日本の点字 第18号』（1992年11月1日発行予定）の内容について

『日本の点字 第18号』は、「英語点字表記の一部改訂について」「『日本点字表記法 1990年版』の発行に伴う点字数学・理科記号表記の解釈について」「国際点字楽譜統一会議の結果と今後の対応」「ルビの扱いについて」「点字関係文献目録」などを中心に編集したものである。

## 領 布 図 書 案 内

-----注文先・日本点字図書館用具事業部（消費税がかかります）-----

1. 『日本点字表記法 1990年版』（墨字版） 1000円（送料260円）
2. 『点字数学記号解説』（墨字版） 600円（送料210円）
3. 『点字理科記号解説』（墨字版） 600円（送料210円）
4. 『日本の点字100年の歩み』（墨字版） 500円（送料210円）

-----（郵便振替 東京5-44522）-----

-----注文先・日本字図書館出版事業部（消費税はかかりません）-----

1. 『日本点字表記法 1990年版』（点字版） 5100円（送料無料）

-----（郵便振替 東京9-750672）-----

-----注文先・日本点字委員会事務局-----

- |     | （点 字 版）                              | （墨 字 版）      |
|-----|--------------------------------------|--------------|
| 1.  | 『点字数学記号解説』 1200円（送料無料）               |              |
|     | 『点字数学記号解説別冊』 3800円（送料無料）             |              |
| 2.  | 『点字理科記号解説』 1200円（送料無料）               |              |
| 3.  | 『日本の点字100年の歩み』 700円（送料無料）            |              |
| 4.  | 『日本の点字 第9号』 300円（送料無料）               | 300円（送料175円） |
|     | （コンピューター用点字 動詞「する」の切れ続き その他）         |              |
| 5.  | 『日本の点字 第11号』 400円（送料無料）              | 400円（送料210円） |
|     | （現代かなづかいの問題点とその展望 点字関係文献目録 その他）      |              |
| 6.  | 『日本の点字 第12号』 400円（送料無料）              | 400円（送料210円） |
|     | （外来語及び外来語を含む複合語の切れ続きについて その他）        |              |
| 7.  | 『日本の点字 第13号』 500円（送料無料）              | 500円（送料210円） |
|     | （複合語の構成と分かち書きの問題 国語審議会への要望書 その他）     |              |
| 8.  | 『日本の点字 第14号』 500円（送料無料）              | 500円（送料210円） |
|     | （「改定現代仮名遣い」原文 点字表記に関する調査報告 その他）      |              |
| 9.  | 『日本の点字 第16号』 500円（送料無料）              | 500円（送料175円） |
|     | （点字が開いた社会参加への道 点字と情報機器 その他）          |              |
| 10. | 『日本の点字 第17号』 600円（送料無料）              | 600円（送料210円） |
|     | （日本点字委員会25年の歩み 盲学校用点字教科書の表記について その他） |              |

墨字版の送料は冊数が多くなれば割安になりますのでお問い合わせください。

〒169 東京都新宿区高田馬場1丁目23番4号 電話 東京03(3209)0241番  
日本点字図書館内 日本点字委員会事務局（郵便振替 東京0-42820）